

※この大会案内（プログラム）は、9月9日に本学会メーリングリスト等で配布した版の内、2日目のプログラムを修正した改訂版です。不手際を深くお詫び致します。（大会プログラム委員会委員長 磯貝健一）

日本オリエント学会第67回大会のご案内

日本オリエント学会第67回大会は、龍谷大学で開催されます。1日目の講演会・授賞式・懇親会は大宮キャンパス、2日目の研究キャンパスは深草キャンパスで実施されます。各キャンパスへの交通手段については、下記 URL をご参照ください（下の二次元コードからもアクセスできます）。

（大宮キャンパス）https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_omiya.html

（深草キャンパス）https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_fukakusa.html

1 日目の公開講演会（参加無料）はハイブリッドで開催されます。オンラインでご参加の方には、ご登録いただいたメールアドレスに後日ウェビナーの URL をお送りします。

また、講演会に先だって、西本願寺見学ツアーを実施いたします（会員限定。集合場所は下記地図を参照。参加される方からは、任意でお気持ちを頂戴できればと存じます）。奮ってご参加ください。

いずれの日程に関しても、参加をご希望の方は、下記 URL から、9月30日（火）までに登録をお願いいたします（下の二次元コードからもアクセスできます）。

<https://forms.gle/mNXyTPyU5tqyTUPb6>

1 日目の懇親会は参加費 4000 円（学生 1000 円）、2 日目の研究発表会は参加費 2000 円（学生 500 円） となります。合計金額を 10 月 6 日（月） までに下記口座にお振込ください。参加登録フォームにご入力いただいたお名前と振込名義人名が一致する形での手続きをお願いいたします。また、振込手数料は参加者各自で御負担ください。一度払い込まれた参加費等は返金できませんので、御了承ください。

銀行名：三菱 UFJ 銀行

支店名：京都駅前支店（支店コード：434）

口座種別：普通

口座番号：3489404

口座名義：日本オリエント学会第 67 回大会実行委員会

ニホンオリエントガツカイダイロクジュウナナカイトイカイジッコウイインカイ

※ 非会員の方は、研究発表への参加に会員の推薦者が必要です。

※ 学生の方は、当日に受付で学生証をご提示ください。

※ 2 日目には託児所の利用が可能です。ご利用を希望の方は、登録フォームに必要な情報をご記入ください。9 時 30 分から 15 時 30 分までで、1 時間単位でご利用いただけます。利用料金は、1 人 1 時間あたり 500 円となります。ご利用希望者は各自利用料金を計算の上、参加費とあわせてお振込ください。

※ 発表レジュメ等は、基本的に PDF など電子媒体での配布になります（発表者自身で紙のレジュメを用意していただくのは任意ですが、実行委員会の方での印刷・増刷には対応いたしかねます）。

お問い合わせは、orient2025ryukoku@gmail.com までお願いいたします。

日本オリエント学会第 67 回大会実行委員会

参加登録フォーム

大宮キャンパス・アクセスマップ

深草キャンパス・アクセスマップ



1日目 2025年10月11日(土)

会場：龍谷大学大宮キャンパス（京都市下京区七条通大宮東入大工町 125-1）

西本願寺見学：西本願寺・御影堂門の前に13時に集合

講演会・授賞式：東覺101教室

懇親会：清和館1階生協食堂

13:00~13:40 西本願寺案内（会員限定・希望者のみ）

案内：井上善幸（龍谷大学文学部真宗学科教授）

14:00~17:40 公開講演会、日本オリエント学会奨励賞授賞式（対面・オンライン）

司会：佐野東生（龍谷大学国際学部教授）

14:00~14:10 開会あいさつ：安藤徹（龍谷大学学長）

14:10~14:20 会長あいさつ：小林春夫（日本オリエント学会会長）

14:20~15:20 公開講演1：岩井俊平（龍谷大学龍谷ミュージアム教授）

「バーミヤーン遺跡の調査とイスラームの東漸」

15:20~15:30 コメント：村岡倫（龍谷大学文学部歴史学科東洋史学専攻教授）

15:30~15:40 質疑応答

15:40~15:50 休憩

司会：塩野崎信也（龍谷大学文学部歴史学科東洋史学専攻准教授）

15:50~16:50 公開講演2：セピーデ・アフラーシュテ（日本学術振興会外国人特別研究員）

（英語／通訳：佐野東生）

「生きるとは恵みに抱かれること：親鸞とルーミーの比較研究」

“To Be Is to Be Embraced by Grace: A Comparative Study between Shinran and Rumi”

16:50~17:00 コメント：井上善幸（龍谷大学文学部真宗学科教授）

17:00~17:10 質疑応答

17:20~17:40 オリエント学会奨励賞授賞式

18:00~20:00 懇親会

※ 公開講演会は龍谷学会との共催

2日目 2025年10月12日(日)

会場：龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町 67）

研究発表会：灯炬館 1～2 階（101～105、201-203 講義室）

第1部会（201 講義室）

- 10:00～10:25 河江肖剰：シンキの小型ピラミッド調査から見る「地方のピラミッド」再考
10:30～10:55 森島邦博・他 ScanPyramids：宇宙線イメージングにより発見したクフ王のピラミッドの切妻構造背後の空間の三次元構造
11:00～11:25 高橋寿光：ダハシュール北遺跡のいわゆる「エンバーミング・カシェ」から出土した土器群について
11:30～11:55 河合望：エジプト、北サッカラ遺跡における墓地の展開について—第9次調査の成果を中心に

（昼食休憩&12:50～13:20 ポスター発表コアタイム）

- 13:30～13:55 進藤瑞生：北サッカラ遺跡における新王国時代の土壌墓群とその造墓活動
14:00～14:25 関広尚世：古代スーダンメロエ期におけるスタンプ文土器について
14:30～14:55 古川桂：エジプト西方砂漠、ハルガ・オアシスにおけるカナートについて
15:00～15:25 岡部睦：グレコ・ローマン時代のイシス・アフロディーテ像におけるミニチュア性と使用形態の転換—北サッカラ遺跡カタコンベ出土資料の事例から

第2部会（202 講義室）

- 10:00～10:25 重信あゆみ：ベス神像における「蹲踞」姿勢の象徴性再考—古代エジプト図像学の一視点
10:30～10:55 肥後時尚：古代エジプトの「無罪の宣言」の変遷について
11:00～11:25 古閑公平：古代エジプト第3中間期から後期王朝時代にかけての奉献碑—土地寄進者に焦点を当てて
11:30～11:55 宮本彩芽：プトレマイオス朝期 Urk. VI 第二書儀式における「混沌の記述」と預言テキストとの関連—区分 26「世界の行く末と儀式を危うくする者に対する歌」をもとに

（昼食休憩&12:50～13:20 ポスター発表コアタイム）

- 13:30～13:55 生田目心愛：コプト語サイド方言文献『ユダ福音書』における Differential Object Marking に関する一考察
14:00～14:25 宮川創：カウ・エル=ケビール（中部エジプト）発見のコプト語写本における語順の特異性の分析
14:30～14:55 佐藤力矢：アウグストゥス治世下エジプトにおける皇帝崇拜—エピセットの分析を中心に
15:00～15:25 田中延和：古代クシュ王権における王および王家女性の役割—ピアンキ王の『勝利のステラ（石碑）』を中心に

第3部会（102 講義室）

- 10:00～10:25 間舎裕生：鉄器時代テル・ゼロールにおける「聖所」の検討
10:30～10:55 成川桃子：キプロスにおけるフェニキア文化の受容—パレパフォスとティルス墓地比較
11:00～11:25 佐藤育子・丸小野壮太（共同発表）：古代地中海世界の東西交流—フェニキアおよびアッシリアの象牙製品ネットワークに着目して

11:30~11:55 西山伸一：アッシリア帝国時代のランプー生活と埋葬コンテクストの考古学視点から

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 常木麻衣：古代西アジアにおける分銅の計測と地域性に関する一考察

14:00~14:25 久米正吾、青木健、辰巳祐樹、早川裕式、H.Hoshimov、B.Matbabaev：ダルヴェルジン遺跡（ウズベキスタン、フェルガナ盆地）の後期青銅器時代～初期鉄器時代の「拝火神殿」ならびに埋葬関連遺構について

14:30~14:55 内記理：プルシャプラのカニシュカ大塔と仏鉢精舎について

15:00~15:25 清水麻里奈：2024・2025 年度のアビュドス・シンキ遺跡出土の土器群について

第 4 部会 (103 講義室)

10:00~10:25 辻田明子：メソポタミアの穀物神の名称と役割—アシュナンとニサバを事例として

10:30~10:55 カドチニコフ・ヤコブ：文学作品と王碑文におけるナラム・シン王のイメージ：ナラム・シン王とエンリル神との対立関係について

11:00~11:25 山田重郎：「ハナの地の王国」の初期を再考する

11:30~11:55 佐野克司：新アッシリア時代初期におけるアッシリアの領土支配

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 伊藤早苗：アッシリア王碑文とアッシリア王室書簡における外交使節

14:00~14:25 柴田大輔：紀元前 1 千年紀アッシリアにおけるニネヴェのイシュタルのアキートゥ祭

14:30~14:55 渡井葉子：「聖娼」を再考する

15:00~15:25 高橋洋成：聖書ヘブライ語の二重母音 ay の二重起源—代名接尾辞と特殊セゴル型との比較から

第 5 部会 (104 講義室)

企画セッション（午前）：《ペルセポリスのペネロペ》—ペルシア王宮から出土したギリシア彫刻

10:00~10:15 阿部拓児：《ペルセポリスのペネロペ》とは何者／何物か？—特定過程と論点整理

10:15~10:35 田中咲子：ペルセポリスの「通称」ペネロペ像—図像伝統に基づく像主同定

10:35~10:55 長田年弘：《ペルセポリスのペネロペ》解釈試論—出征兵士の家族の誓いと奉納を背景に

11:05~11:25 篠塚千恵子：《ペルセポリスのペネロペ》を素材（大理石）から読み取る

11:25~11:45 阿部拓児：ペルセポリスに渡った《ペネロペ》

11:45~12:00 質疑応答

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 五十嵐小優粒：ペルシア語の šodan 構文に対する定義づけの試み

14:00~14:25 榮谷温子：これは意識か直訳か？—クルアーンの邦訳をめぐる：hal 疑問文を中心に

14:30~14:55 鈴木慎也：水利遺構の構造と矢穴痕の比較からみる築造技術の変遷—ブフ貯水池・パラークラマ・サムドゥラ貯水池を中心に

15:00~15:25 下山繁昭：古代インド文化の我が国への伝播の痕跡を求めて—インド太平洋ビーズ

第 6 部会 (101 講義室)

10:00~10:25 深見奈緒子：『エジプト誌』掲載の詳細地図からみた前近代カイロの街路と街区

10:30~10:55 秋葉淳：恐怖と流産—18 世紀オスマン帝国法廷文書に見る感情と暴力

11:00~11:25 吉田達矢：クリミア戦争期におけるオスマン帝国地方社会の諸問題—シナンオウルの反乱

に関する検討を中心に

11:30~11:55 大津谷馨：ナフラワーリーの『メッカ史』に見える中世史と近世史の連続・非連続

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 大塚修：ティムール朝王子イスカンドルの『傑作集』の真の姿

14:00~14:25 角田哲朗：ポスト・モンゴル期イランにおけるメシア主義者の相互認識—反ヌールバフシ
ュ論駁文献の発見

14:30~14:55 大山葉奈：バイバルス期マムルーク朝の外交関係におけるキリキア・アルメニア王国の位
置づけ

15:00~15:25 中町信孝：14 世紀前半のキリキア=アルメニア王国とマムルーク朝の外交関係

第 7 部会 (105 講義室)

10:00~10:25 原陸郎：前近代ハンバル学派におけるイブン・アラビー批判と擁護

10:30~10:55 村山木乃実：「光を食べる」表現にみるルーミーの神への愛—ペルシア神秘主義文学の視
点から

11:00~11:25 矢口直英：ガレノス『諸器官の用途について』のイスラーム世界における受容—11 世紀の
『注釈』第 11 巻の分析を通じて

11:30~11:55 ウエルズ桜：『パリ要約のための黄金の精錬』における「イスラームの地」

(昼食休憩&12:50~13:20 ポスター発表コアタイム)

13:30~13:55 辻明日香：中世コプト教会の異宗派認識とその展開—15-19 世紀末における『光輝の書』
写本の伝播や利用に関する予備的報告

14:00~14:25 三代川寛子：19 世紀シリアにおけるアラビア語聖書翻訳とそのエジプトにおける受容

14:30~14:55 富田健次：イスラム統治論に見るエーテバーリー概念—ホメイニの VF 再検討

15:00~15:25 Danisman Idris (ダヌシュマン イドリス)：ムスリムの社会統合過程におけるモスク説教の
役割—日米比較の視点から

ポスター発表 (203 講義室) (コアタイム 12:50~13:20)

・赤司千恵・中山誠二：シルクロード都市における果樹利用

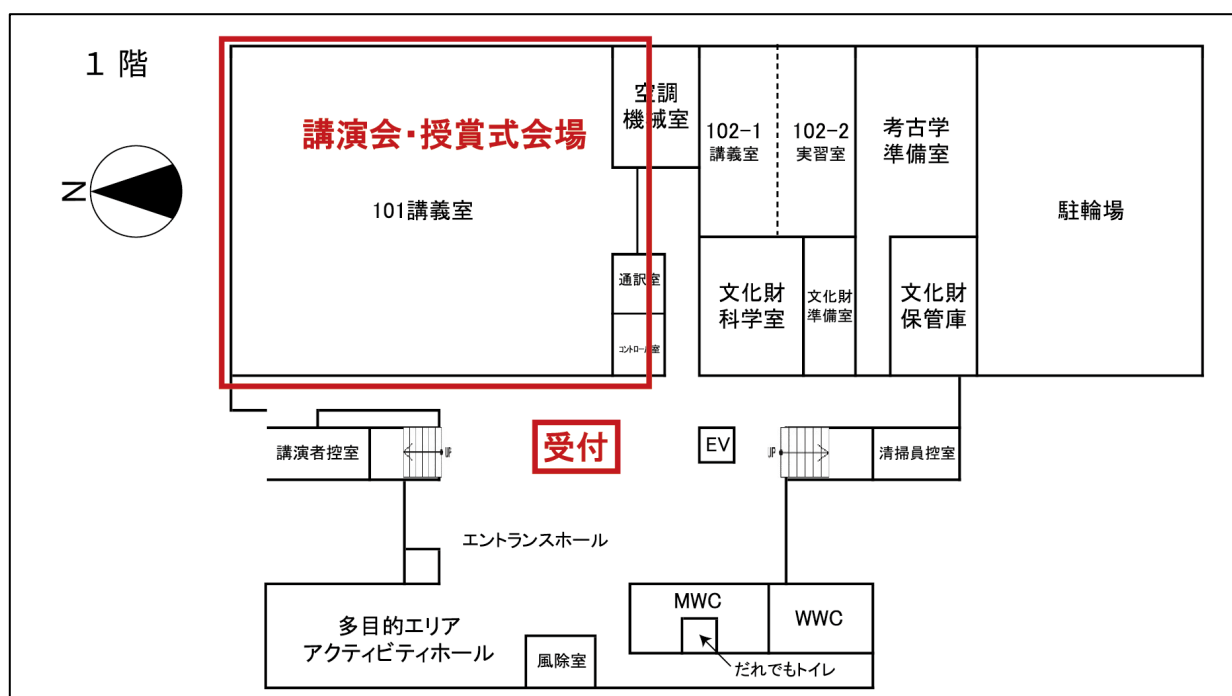
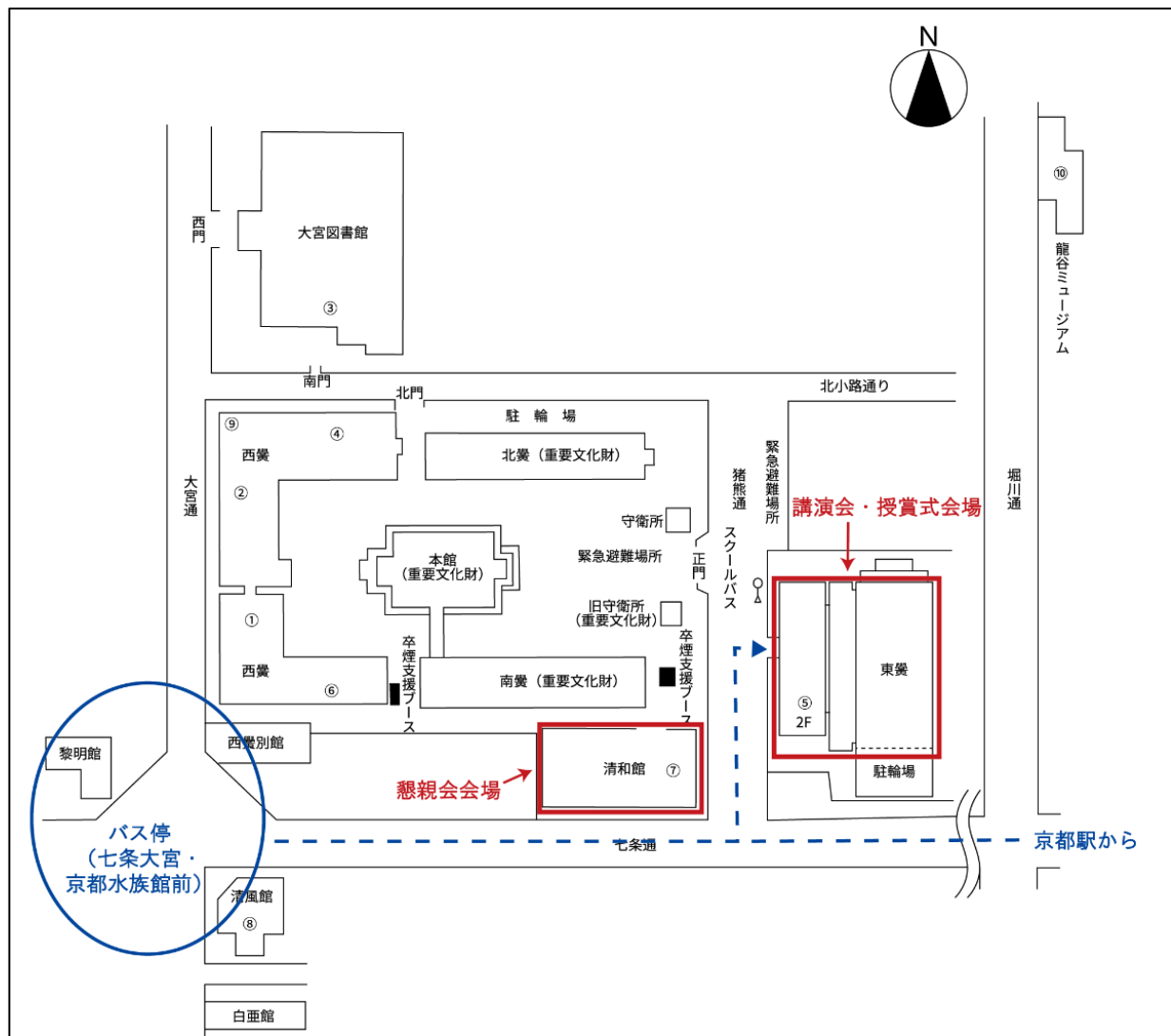
・川浪拓也・ティモスィー・山内健二・山本孟・塚越柚季：ヒッタイト語粘土板文書における欠損復元と
接合発見の補助ツールの試作

・清水麻里奈：末期王朝～プトレマイオス朝におけるトキのミイラのための土器棺ケーススタディ(1)

・長谷川修一・橋本英将・津本英利・小野塚拓造・間舎裕生：アッシリア・バビロニア帝国支配下の南
レヴァント—テル・レヘシュの事例から

・山田綾乃・柏木裕之：クフ王帰属の 2 隻の木造船の共通点・相違点の整理

1 日目会場案内図（大宮キャンパス）



[illegible]

本願寺見学の集合場所（西本願寺・御影堂門前）

